

12月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご(ふじ)	5,669	やや下 回る	5,360	289	111	285	880	15.5	青森、長野中心。秋以降の天候不良や気温高の影響もあり、全国的に出荷は遅れ気味になっている。11月半ばに各産地の「サンふじ」は出揃ったが、収量的に少なく、これまでの中生種の流れもあって高値基調で推移している。12月にかけて贈答需要も高まってくるが、上位等級品は少なく、引き合いは強くなる見込み。糖度が高く食味が良いので、年末にかけて徐々に価格が上げ基調となる予想。
いちご類	2,933	下回る	2,600	1,695	114	1,800	0	0.0	栃木、福岡中心の入荷。前年は11月下旬～12月上旬にかけ平年を大幅に上回る入荷で、価格は伸び悩んだ。今年は気温は高めに移しているものの前年ほどの大幅な生育前進はみられず、12月中旬には2L・Lサイズの引き合いが強まり、年末にかけてしっかりと価格が維持される見込み。
西洋なし	781	前年並 み	710	332	110	394	649	83.1	山形中心の入荷。今年は食味が良い。贈答シーズンを迎え大玉中心に高値が予想される。小玉は量販扱いによりやや安値となるだろうが、大玉比率が高くなっているため、全体で価格は前年を上回る見込み。
キーウイ	573	やや上 回る	482	459	98	395	7	1.2	ニュージーランド産最終便が12月2日、国産は12月10日前後に始まり、切り替わりによる混乱はないと予想される。国内主要産地の福岡産の出荷量が回復しており、荷不足がなければ、価格は前年並みかやや下回る見込み。
ほしがき	506	やや上 回る	515	2,289	98	2,093	37	7.4	長野中心の入荷。前年は産地の作業が進まず入荷が滞り、大幅高値となった。今年は11月に高温の時もあったが、大きな影響はないと予想される。年末は量売って稼ぐ方針となるため、価格は前年をやや下回る見込み。